

矢作川流域圏懇談会通信

R5 流域連携 vol.3



発行日：令和5年10月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第15回いい川・いい川づくりワークショップ in 東北に参加しました！

「第15回」（川の日ワークショップからの通算では第25回）となる、今回の「いい川・いい川づくりワークショップ」は、東日本大震災から12年経過した“東北”での開催となりました。今大会は、エクスカーションや発表・公開討論会等の選考を通し、3日間にわたる地域、世代、立場を越えた出会い、交流を目指しています。矢作川流域圏懇談会は、口頭発表やグループワーク、ポスターセッションを通して、他団体との交流および全国へPRを行いました。実行委員より“川がつなぐ山から海まで”を本当に学び合っていたきたいという想いを込めて、「山から海まで学び合いま賞」をいただきました。



日程：令和5年9月29日（金）～10月1日（日）

場所：東北大学（青葉山キャンパス）青葉山 commons

◆イベントの経緯と内容および矢作川流域圏懇談会の参加について

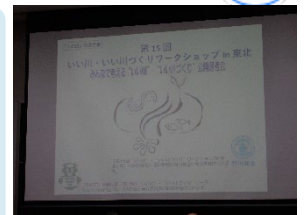
1. 経緯とイベントの内容

■経緯（HPより抜粋）

私たちがめざす川や水辺はどんな姿なのか、私たちにとって“いい川・水辺”とはどんなことなのか、各団体が事例や取り組み、思いを持ち寄り、発表、議論することにより、少しでも“いい川・いい川づくり”のビジョン、イメージの共有につながれば、やがては日本中に個性豊かな愛着の持てる川や水辺が出現するとの思いから開催されました。

■主なイベント内容

- ◇エクスカーション（仙台の川や海とまちの姿、人の暮らし、その過去・現在・未来を訪ねる3コース）
- ◇全体発表会（会場での全応募31団体が1団体3分で活動内容等を発表する）
- ◇テーブル選考（一次選考。6グループに分かれ、選考員を中心に議論を行い、2団体を決定する）
- ◇復活選考（ポスターセッション型式の交流とともに、新たな視点から5件を選考する）
- ◇全体選考（二次選考。合計17団体の中から、議論の上、選考員の投票により選定する）
- ◇公開討論（最終選考。別の選考員がさらに議論を行い、入選団体の中からグランプリを決定する）
- ◇表彰式（グランプリ、入賞、入選、“いい川”技術賞、森清和賞、広松伝賞を表彰する）



2. 9月29日（金）エクスカーション（現地視察）について

【仙台の川や海とまちの姿、人の暮らし、その過去・現在・未来を訪ねる3コース】

■Aコース

町の礎を築き潤した川 四ツ谷用水めぐり（第14回グランプリ）

◇コース概要

仙台駅～宮城県工業用水道沈砂池～四ツ谷堰～聖沢掛樋～大崎八幡宮～四ツ谷用水本流沿い散策～支倉堀（東北大学歯学部構内）

◇ご案内

村上英寛氏（四ツ谷用水案内人）



■Bコース

貞山運河（新堀）～東日本大震災の津波災害から12年目の現状～

◇コース概要

荒井駅～震災遺構荒浜小学校前～深沼海岸～海岸公園センターハウス～貞山運河に沿って散策～カントリーパーク新浜～新浜みんなの家

◇ご案内

貞山運河倶楽部



■Cコース ※中止

広瀬川沿いの大地・まちの歴史とグリーンインフラ散策

◇コース概要

川内駅～東北大学川内キャンパスの雨庭～千貫橋～千貫沢遊歩道～広瀬川沿い散策～500万年前の貝化石層～仙臺緑彩館の雨庭～大橋～竜の口溪谷と経ヶ峯大露頭



3. 参加団体の紹介 グランプリ・準グランプリ受賞団体（一部抜粋）



【川で活動している31団体が東北大学の青葉山キャンパスに集結しました！】

■矢作川流域圏懇談会

～流域はひとつ、運命共同体～

山から海まで2日がかりの「矢作川の全て」バスツアーの開催報告やパネルを用いて13年間の歴史について発表しました。

■国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部帯広河川事務所 ★グランプリ受賞

～十勝川の伐採木が動物たちのエサに！～

河川工事や維持管理上の支障になる樹木を伐採し、地元の動物園に提供することで、動物たちのエサとして有効活用しています。

■NPO法人北九州・魚部 ★準グランプリ受賞

～人と温泉と生き物と～亀川温泉発！生き物好きによる「泉都」別府の新たな魅力の発掘！～

市街地化と暗渠化した今も水が流れる「温泉の溝」に、40℃の高温を好む「オンセンゴマツボ」を発見！

■一般社団法人 SAVE IWATE ★広松賞

～川のタカラモノ「くるみ」を使って東北の復興へ～

北上川に生えるクルミの実や樹皮を活用した商品を作製し販売している。東日本大震災の被災者の雇用を生み出しました。

■玉一アクアリウム ★森清和賞

～明石川と共に生きる～

小学生が明石川の生き物を1年間でモニタリング調査や外来種の駆除、在来種の保護、オリジナル図鑑作りを行いました。

■北上川下流河川事務所 ★いい川技術賞

～石巻かわまちづくり～川とともに生きる新しい石巻～

堤防天端空間と建築の一体的整備によって川とまちを積極的に結びつけ、新たな賑わいの拠点を創出しました。

4. いい川・いい川づくりワークショップ当日の様子



【9月30日（土）全体発表会・テーブル選考について】



全体発表会では、事務局の松田氏とはぎぼうの掛け合いを行い、懇談会をPRしました。



テーブル選考では、コーディネーターを中心にディスカッションを行い、選考委員により5団体の中から2団体が選ばれました。



懇談会は8票のうち2票が入り、テーブルの中で3位という結果に終わりました。



入選はできませんでしたが、懇談会を多くの方にPRすることができました。

【10月1日（日）復活選考・全体選考・公開討論・表彰式について】



ポスターセッションによる復活選考を行いました。残念ながら、懇談会は復活できませんでした。



次世代を担う大学生にも懇談会の紹介をしました。



全体選考・公開討論会において、入選した17団体についての議論を行い、グランプリを決定しました。



表彰式にて、国土交通省北海道開発局 帯広開発建設部 帯広河川事務所がグランプリに輝きました。

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 蔭山、建設専門官 宮本、技官 松田
TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省豊橋河川事務所流域治水課 (cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までお送りください。

